

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 191

2016年
11月号
(11月1日)

発行責任者
藤本講治

――目次――

- 1頁：11月の活動予定（11/1現在）
2頁：平和運動センター第22回定期総会を開催（10月24日）
4頁：「戦争法発動反対！南スーダンから自衛隊は撤退を！11・11ヒロシマ行動」に結集を
地区労だより（尾道地区労組会議）
5頁：沖縄高江ヘリパット建設阻止の現地闘争に参加（10月11日）
「2016原水禁学校」開校（10月26日）
7頁：「狭山事件の再審を求める市民集会」（10月28日・日比谷野音）
新聞に見る「ヒロシマ」（9/24～10/25）
8頁：ご案内〔憲法理念の実現をめざす第53回大会（護憲大会）〕
〔広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート・金剛山歌劇団広島公演〕
〔原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事〕
〔第48回食とみどり、水を守る全国集会〕
〔部落解放広島県共闘会議「部落問題学習会・フィールドワーク」〕

【11月の活動予定】

- 8日(火)18:30 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会世話人会＝広島弁護士会
10日(木)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室
11日(金)18:00 戦争法発動反対！南スーダンから自衛隊は撤退を！ヒロシマ行動＝原爆ドーム前
12日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所
12日～14日(月) 憲法理念の実現をめざす第53回大会(護憲大会)＝富山市
14日(月)18:30 広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート金剛山歌劇団広島
公演＝広島文化学園HBGホール
16日(水)18:30 日朝友好広島県民の会第3回幹事会＝広島朝鮮会館
18日(金)18:30 三原地区労センター2016年度総会＝三原市市民福祉会館
19日(土)9:20 「原水禁学校第Ⅱ講座」・県原水禁11月常任理事会＝似島
20日(日)10:00 社青同広島地区本部第62回定期大会＝アステールプラザ
23日(水)13:00 原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事実行委員会小委員会＝広島国際会議場

- 15:00 原爆ドーム世界遺産登録 20 周年記念行事＝広島国際会議場他
 25 日(金)18:00 平和運動センター2016 年度第 1 回常任幹事会＝平和運動センター事務所
 25 日～26 日(土) 第 48 回食とみどり、水を守る全国集会＝札幌市
 26 日(土)10:00 部落解放県共闘会議部落問題学習会・フィールドワーク＝呉市山の手会館
 12:00 部落解放広島県共闘会議第 4 回幹事会＝呉市山の手会館
 29 日(火)～30 日(水) 部落解放共闘第 33 回全国交流会・地方共闘全国連絡会議第
 33 回総会＝大分市

平和運動センター第 22 回定期総会を開催（10 月 24 日） ＝新たにオブ加盟・全造幣労働組合を迎えて更なる運動の強化を＝



平和運動センターは 10 月 24 日、自治労会館で代議員 43 名（内委任 9 名）、特別代議員 8 名、オブザーバー参加労組（全造幣）、傍聴 2 名、役員 14 名の 68 人が参加し、第 22 回定期総会を開催しました。議長団に川口正徳代議員（全水道）、長谷川健一代議員（農協労連）を選出し、議事に入りました。



開会にあたり佐古正明議長は、「私たちは、昨年 9 月 19 日、戦争法が強行採決されて以降、毎月の 19 日行動を取り組んできた。2000 万統一署名、街頭行動や組織内での取り組み、大変お世話になった。しかし、安倍政権は、夏の参院選の結果を背景に、憲法問題、原発問題、基地問題なお暴走を続けている。いま、南スーダンの平和維持活動に武器使用が可能にする駆けつけ警護が付与される状況となっている。自衛隊の海外派兵を後ろ盾となっている戦争法には断固として反対していかなければならない。『おごる平家は久しからず』という言葉にあるように現政権、長続きするはずはない。安倍政権の退陣に向け、力を尽くしていかなければならない。今日的な情勢は反動的で右傾化しているのは確かであるが、平和を希求する団体（平和運動センター）として、広島から活動をさらに強めていくため中央の平和フォーラムと連携し、行動することを本日の総会で確認し合いたい」とあいさつしました。



総会には 7 名の来賓（連合広島・久光博智会長、広島県被団協・坪井直理事長、広島県原水禁・金子哲夫代表委員、憲法を守る広島県民会議・檀上正光代表委員、部落解放同盟広島県連合会・山下真澄副委員長、朝鮮総連広島県本部・リ テ ヒョン委員長、戦

争をさせないヒロシマ1000人委員会・秋葉忠利呼びかけ人代表)のみなさんにご出席をいただき挨拶を受けました。また、平和フォーラムなど9通のメッセージを披露しました。

その後、執行部から2015年度活動報告・決算報告、2016年度活動方針案・予算案、役員改選案の提案を行いました。質疑討論では、広教組の西迫代議員から「現政権の下、在日外国人・在日朝鮮人への人権侵害が後を絶たない。朝鮮学校の子どもの教育権の保障など取り組みを強化していこう」と運動方針の補強意見を受け、全ての議案が満場一致で承認され、総会宣言の採択、佐古議長の団結ガンバロウで総会を閉会しました。

厳しい情勢ですが平和運動センターに結集して平和と民主主義を守るためがんばっていきましょう。

【2016年度役員体制】

議長	佐古 正明 (私鉄県協)	幹事	景山 浩 (私鉄県協)
副議長	戸守 学 (自治労)	幹事	中本 英治 (農協労連)
副議長	石岡 修 (広教組)	幹事	森側 容伸 (全農林)
副議長	門長 雄三 (高教組)	幹事	遠藤 博志 (全自交)
副議長	倉本 保広 (全水道)	幹事	桜井 修司 (全港湾)
副議長	宮内 秀佳 (JR西労)	幹事	森田 哲平 (日放労)
副議長	門田 浩英 (シンコー労組)	幹事	森原 博之 (私教連)
事務局長	藤本 講治 (自治労)	幹事	土屋みどり (スクラムユニオン・ひろしま)
		オブザーバー	玉川 雅輝 (全造幣)

会計監査 児玉 聖 (中国労金労組) 会計監査 中村 翔 (熊平製作所労組)

※退任役員は、副議長の福永 学さん (全水道)、幹事の匂末秀成さん (全農林)、福本康志さん (地区労西部ブロック)、金丸義範さん (地区労南部ブロック)、中山悦己さん (地区労北部ブロック)、高橋幸太さん (地区労東部ブロック)、会計監査の岡本佑希さん (中国労金労組) です。大変ご苦勞様でした。

総 会 宣 言

私たちは本日、第22回定期総会を開催し、この一年間の活動の総括と平和・人権・環境を守り、脱原発をめざす運動の強化に向けた2016年度運動方針を決定し、この具体化に向け、全力をあげて取り組むことを参加者全員で確認した。

戦後70年を超えたいま、平和・民主主義・憲法体制が最大の危機を迎えている。7月の参議院選挙の結果を受け、安倍政権はより一層暴走の度合いを強め、沖縄辺野古への基地建設、歴史の改ざん、貧困と格差の拡大、原発再稼働、そして憲法改悪へと突き進んで行くことは明らかである。私たちは、被爆地ヒロシマから護憲・反戦・核廃絶・脱原発など、反核・平和を一貫して訴えてきた。こうした運動を今後も積み上げていかなければならない。

安保関連法案が強行採決されて9月で1年を迎えた。私たちは、戦争をさせない ヒロシマ1000人委員会に結集し、「総がかり行動」運動を全力で取り組んできた。「戦争法の廃止を求める統一署名」は広島県内で30万筆を集約し、毎月19日の行動を中心に「戦争法廃止・改憲阻止」の街頭行動を展開してきた。この取り組みの中で多くの市民との共同行動・連帯の輪が作り出されている。いよいよ憲法改正をめくり、国会の圧倒的多数を背景とした安倍政権との正念場の闘いとなる。

安倍政権の反動攻勢のなか、今ほど労働組合への期待が高まっている時はない。貧困と格差社会に対する運動・戦争をさせない運動・脱原発運動で、その役割を果たすことが求められている。平和と民主主義、人権と反差別、核兵器廃絶と脱原発など平和運動センター

の運動課題は、安倍政権の政策と全面的に対決している。私たちは、これまでの平和運動センターの主体的な運動強化と合わせ、これまで培ってきた団体との連携・取り組みの強化をはかり、安倍政権の暴走を何としても阻止しなければならない。

私たちは本総会で確認された方針にもとづき、各組合・地区労の団結と連帯の力を強めながら、「いのちと人権・平和」を守るため、県下各地で運動を推進することをここに宣言する。

2016年10月24日

広島県平和運動センター第22回定期総会

「戦争法発動反対！南スーダンから自衛隊は撤退を！ 11・11ヒロシマ行動」に結集を＝18時 原爆ドーム前

安倍政権は、昨年9月19日に強行採決した安全保障関連法（戦争法）に基づく「駆けつけ警護」、「宿営地の共同防衛」など、自衛隊の新任務を南スーダンPKO派遣部隊に付与しようとしています。（11月11日に閣議決定予定）

南スーダン国内は、内戦が激化する深刻な情勢です。任務遂行のために武器を使う「戦争ができる国」へ大きく踏み出すこととなります。11月11日、戦争法の発動と「新任務付与」に反対の声を被爆地広島から挙げましょう。



「戦争法発動反対！南スーダンから自衛隊は撤退を！ヒロシマ行動」

◇開催日 11月11日（金）18時 原爆ドーム前

◇内容 18時～ 集会 18時30分～ デモ行進

地区労だより【尾道地区労組会議】

＝平和と人権確立のために根強い運動を＝



平和・民主主義尾道地区労働組合会議では、尾道地区において平和運動・人権確立活動等に取り組んでいます。

2016年3月には、「戦争させない1000人委員会」に賛同する尾道地区の共闘団体が

集結し、戦争法反対運動を進めたいとの呼びかけのもと、尾道地区労働組合会議として「戦争させない1000人委員会・尾道」という活動を主体的に展開し、共闘団体と共に署名や街頭活動等を尾道駅前で行いました。また、7月29日の平和行進では、府中地区から受け継ぎ、尾道地区を行進しました。毎年の恒例イベントではありますが、昨年9月の安全保障関連法案の強行可決や、7月の国政選挙で改憲勢力の2/3以上の議席確保を受け、団結力もより一層高まり、昨年よりも増した平和への願いを胸に、声を大にしてシュプレヒコールを行いました。

厳しい情勢が続きますが、尾道地区労働組合会議は今後も根強く平和・人権を守る活

動を一致団結して続けていきます。（尾道地区労組会議事務局長 森下泰成）

沖縄高江ヘリパット建設阻止の現地闘争に参加（10月11日）

＝平和フォーラム・全国から115人が現地闘争を支援！＝

平和フォーラムは、都道府県運動組織・中央団体が結集して10月10～12日にかけて「沖縄・高江ヘリパット建設阻止現地闘争」を取り組み、全国から115人が参加しました。（広島県から平和運動センター事務局と自治労が参加）。

「高江」については、安倍政権が7月の参議院選挙で勝利するや沖縄・辺野古埋立てに反対する翁長雄志・沖縄県知事を提訴し、あるいは北部の「やんばるの森」の中に大きなオスプレイ・パッド6基を建設するため、本土からも500人もの機動隊を投入し、連日、市民の抵抗を力で排除し続けています。また、自衛隊のヘリコプターまで使って工事用の重機や大型トラックを運ぶという異常事態になっています。

10日は、那覇市内で学習会が開催され、沖縄国際大学の前泊博盛教授が「沖縄が問う日本の憲法、安保、民主主義～辺野古、高江問題の課題と展望」、名城大学の大城渡准教授が「高江・警察機動隊活動問題への法的アプローチ―警察行政の根幹を問う」と題した講演が行われました。また、沖縄平和運動センター大城悟事務局長から「オスプレイパット阻止！現地闘争報告」を受け、学習・交流をはかりました。

翌日11日は、早朝5時に集合し米軍北部訓練場「N1表ゲート」前の県道の路上に、大型ダンプによる工事用資材の搬入を阻止するためスクラムを組んで座り込みました。その間、沖縄平和運動センターの山城議長の指揮の下、警察機動隊によるごぼう抜き強制排除を受けながら、「やんばるのいのちの森にヘリパットはいらない！」と抗議の声を上げました。私たちは、この高江の状況を広く拡げるとともに、辺野古新基地建設阻止など安倍政権の暴政を止めるために、沖縄との連帯の行動を強めていかなければなりません。



「2016原水禁学校」開校（10月26日）

＝第1講座「核と人類は共存できない・原水禁運動の歴史」＝

広島県原水禁は、原水禁の運動の歴史を学びながら、将来の担い手づくりを進めるため、10月から来年の2月にかけて5回にわたって「原水禁学校」を開催することとしました。10月26日の第1講座には43人が参加しました。

開会にあたり、学校長を務める県原水禁の秋葉忠利代表委員があいさつを行った後、

金子哲夫さん（県原水禁代表委員）から、講演を受けました。以下、原水禁ホームページ「ヒロシマの心を世界に」ブログから講演内容を抜粋して紹介いたします。

いよいよ、2016 原水禁学校が始まりました。10月26日が第一回の講義で、テーマは「原水禁運動の歴史に学ぶ」。講師は、原水禁の代表委員・元衆議院議員で、このブログでもお馴染みの金子哲夫さんです。

広島県原水禁の基本理念を簡単にまとめると、二つの等号で示すことができそうです。一つは、「被爆者の救済」＝「核廃絶」です。森瀧先生の言葉にすると「被爆者の救済なくして核廃絶なし」そして「核廃絶なくして被爆者の救済なし」です。それはより大きな等号、「核なき世界」＝「人類の生存」、森瀧先生の言葉では「核と人類は共存できない」です。その一部として、「軍事利用も平和利用も否定」という考え方になります。森瀧先生の思想や人生を詳しく知りたい方には、森瀧先生の遺された『核と人類は共存できない』をお勧めします。

被爆者救済のため、1994年にはそれまで「原爆二法」と呼ばれた法律が一つにまとめられ「被爆者援護法」になりましたが、この法律には重大な欠陥があります。「戦争の結果、国民が犠牲を払うことになっても、それは全ての国民が等しく受忍しなくてはならない」と要約できる「受忍論」と呼ばれる考え方を元に、日本政府は国家が戦争の責任を取ることを否定してきているからです。この点については、「線香の一本でも」に込められた思いをお読み下さい。

しかしながら、かろうじて被爆者たちの声が国立の施設で認められているのが、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館です。地下一階から地下二階に降りるスロープの壁にはめ込まれている銘板の一つには次のような言葉が記されています。

ここに、原爆で亡くなった人々を心から追悼するとともに、誤った国策により犠牲となった多くの人々に思いを致しながら、その惨禍を二度と繰り返すことがないよう、後代に語り継ぎ、広く内外に伝え、一日も早く核兵器のない平和な世界を築くことを誓います。

しかし、この「誤った国策」という表現は、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館のホームページその他の場所から完全に削除されていて、この場所でしか見ることのできない言葉なのです。この点についても金子さんが「現地で見られない説明文」で熱く語っています。金子講師の話にはまだまだ大切なポイントがあるのですが、それについては御本人も書かれるはずですので、ほんの一部を紹介させて頂きました。森瀧先生の思想や行動を継承している金子さんを通して、森瀧先生と広島県原水禁のこれまでについて、生きた歴史を学ぶことができました。原点に戻ることの大切さも改めて確認できました。次回からの講義には皆さんにもお出で頂ければ幸いです。（秋葉忠利）



原水禁学校（第2講座）

- ◇開催日 11月19日（土）9時20分～ 宇品港⇄似島
- ◇内 容 被爆体験をどう継承するか—似島フィールドワーク
- ◇参加費 1,000円（フェリー代、弁当代）

「狭山事件の再審を求める市民集会」(10月28日・日比谷野音)

＝証拠ねつ造は明らかだ！東京高裁は鑑定人尋問・再審開始を！＝

10.31 第2審東京高裁寺尾不当判決42年、狭山事件の再審を求める市民集会が10月28日、東京・日比谷野外音楽堂において開催され、全国から約3,000人が参加し、冷たい雨に打たれながら集会とデモ行進を行いました。

(広島県共闘会議加盟組織から部落解放同盟、連合広島、自治労、私鉄県協、広教組、高教組、平和運動センター事務局が参加)

集会は大島花子さん(故坂本 九さんの子ども)のプレコンサートで始まり、部落解放同盟中央本部組坂委員長のあいさつ、政党代表のあいさつ(民進党・社民党)、そして、石川一雄さん・佐智子さんからアピールがありました。

石川さんは「万年筆、闇夜切り裂く鑑定で、科学の力で、司法を咎める」この詩を読み上げ、証拠のねつ造・無実を訴えました。また、狭山再審弁護団の中山武敏主任弁護人と中北龍太郎弁護士から「8月22日に弁護団が提出した新証拠によって、被害者のものとされた万年筆がねつ造だということが科学的に証明された」と報告がされました。その後、えん罪を生む取り調べの実態を足利事件の菅家さん、布川事件の桜井さん、袴田事件の袴田さんのお姉さんの秀子さんなどから連帯のアピールがありました。

最後に、一日も早く石川さんの「みえない手錠」をはずすために、狭山事件の再審を実現しよう！との集会アピールを参加者一同で確認し合い集会を終えました。



新聞に見る「ヒロシマ」(9/24～10/25)		
見出しから	日付	新聞
核実験自制決議を採択 安保理CTBT批准促す	9.24	中国
被爆半生 絵本に思い	9.24	朝日
「核廃絶へ決意表明」 核実験自制決議 広島市長が評価	9.25	中国
韓国医師ら10人 被爆者医療学ぶ	9.27	中国
フィルムに刻む被爆建物 写真家井手さん 没後10年	9.28	中国
復興の記録 井手氏資料展	9.29	朝日
子らの被爆記 英語で伝える シカゴ原爆展	9.29	朝日
平和アパート解体へ 峠三吉ゆかり 広島市が案	9.29	朝日
「原爆体験記」を音源化 平和祈念館	9.29	中国
平和公園 全面禁煙 広島市議会 可決の公算大	9.30	中国
ドクさん 平和公園訪問へ 東広島で枯れ葉剤講演も	10.1	中国
折り鶴再生紙 動物に変身!?	10.2	中国
平和宣言の言葉 変遷を動画で 広大の企画展で上映	10.4	朝日
被爆者の記憶 聞き取り進む 追悼祈念館	10.5	中国
若手の外交官 ヒロシマ学ぶ 原爆資料館を見学	10.6	中国
平和公園の灰皿・喫煙ブース 18年4月までに撤去	10.6	中国
被団協、ノーベル賞ならず 核廃絶へ 決意新た	10.8	朝日

核廃絶ゼロ 決意新た 被団協「平和賞」届かず	10.8	中国
核禁止へ56万人署名 被団協が国連へ提出	10.8	中国
被爆の痕跡 寺社に今も 十日市町周辺	10.9	朝日
反核・平和 原点の絵筆 中区で四国五郎企画展	10.10	朝日
被爆2ヵ月の資料館付近 撮影地の遺構 15日公開	10.10	中国
被爆エノキ紡ぐ交流 故長崎さんの妻ら基町小訪問	10.12	中国
森さんに菊池寛賞 広島 of 被爆米兵を調査	10.14	中国
87歳の被爆 アニメで継承	10.15	朝日
被爆前「街並み」公開 原爆資料館の発掘現場	10.16	中国
核軍縮「展望共有を」 ノルウェー外相 慰霊碑訪問	10.19	中国
米原爆展 朗読でノーモア 平和祈念館派遣	10.21	中国
核禁止条約「心から期待」 国連討論会 被爆者ら訴え	10.22	中国
被爆者 核廃絶訴え 広島・森川さんら 国連本部で集会	10.25	朝日
平和記念聖堂補強へ 来月から観覧制限	10.25	中国

【ご案内】

■ 憲法理念の実現をめざす第53回大会（護憲大会）

◇日時 11月12日（土）～14日（月）

◇場所 富山市「オーバード・ホール」（芸術文化ホール）他

■ 「広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート・金剛山歌劇団 広島公演」

◇日時 11月14日（月）18時30分～

◇場所 広島文化学園HBGホール＜広島市文化交流会館＞

◇チケット代金 一般2,000円

※チケットのお申し込みは、広島公演実行委員会（事務局：平和運動センター）へ。

■ 原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事

◇記念フォーラム

*日時 11月23日（水・祝） 15時～18時

*場所 広島国際会議場

*内容 記念講演、若者からのメッセージ、トーク・ライブ

◇平和アピール行動

*日時 11月23日（水・祝） 18時30分～19時

*場所 原爆ドーム慰霊碑前

*内容 献花・献水、平和アピール採択、合唱など

■ 第48回食とみどり、水を守る全国集会

◇開催日 11月25日（金）～26日（土）

◇場所 札幌市「ホテルロイトン札幌」・「ホテルポールスター札幌」

◇内 容 全体集会、シンポジウム（25日）
分科会、フィールドワーク（26日）

■ 部落解放広島県共闘会議「部落問題学習会・フィールドワーク」

◇日 時 11月26日（土）10時～12時

◇会 場 呉市山の手会館

◇内 容 現地学習・フィールドワーク
「山の手の歴史と差別実態について」

講師：谷口吉俊さん（部落解放同盟呉支部長）